

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長 矢部 哲也	
健福-04	福祉センター管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	福祉総務課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-①多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。
効果	利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	福祉センター管理運営事業	光熱水費、昇降機保守点検手数料、総合管理業務委託料	保守及び点検業務(法定含む)の契約件数(件)	17 / 44,915	17 / 49,903	17 / 48,629	100%
02	福祉センター維持修繕事業	各所維持修繕料	修繕計画の進捗率(%)	56.1 / 26920	60.0 / 36,258	90.0 / 4,000	93.5%
03				/	/	/	
04				/	/	/	
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
10				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	/		/	
			地方債	10500 / 14300		/	
			その他特定財源	5626 / 6196		6,107	
			一般財源	55,709 / 65665		46,522	
		事業費の合計(千円)		71,835 / 86,161		52,629	
		人件費(千円)		/		7,865 / 8,675	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	1.0	1.0	1.3	1.0	1.0
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	福祉センター管理運営事業	保守及び点検業務に漏れがないように、一覧を作成し適切に管理することで、施設環境の保持に努めている。	福祉活動を行う場を適切かつ効率的に管理運営することにより、多様性のある福祉サービスの充実が図れた。	-
02	福祉センター維持修繕事業	3年に1度実施される建築基準法12条点検で指摘があった項目について、優先度をつけて修繕している。 令和6年度は点検後2年目にあたり、概ね点検通り実施している。		鎌倉市福祉センターは建築後約30年が経過し、維持修繕必要箇所が増えている。12条点検での指摘事項を中心としつつ、不具合が起こる前に計画的に修繕を行う必要がある。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・公共施設再編計画においても、少なくとも令和35年度末時点まで施設を利用することとなっており、今後も計画的な修繕を重ねながら施設を維持管理していく必要がある。 ・施設の保守管理料等の維持費については、今後も施設利用事業者から適切な受益者負担を求めるとともに、パネル広告など収入確保策を継続する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	保守及び点検業務(法定含む)の契約件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
保守及び点検業務(法定含む)を適切に実施することで、施設環境が保持できると考えられるため。	目標値	－	17	17	17	17	17.0	
	実績値	－	17	17	17	17		
	達成率	－	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)	修繕計画の進捗率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的に修繕を実施することで、利用者の利便性向上につながると考えられるため。(3年毎に実施される建築基準法第12条第2項に基づく点検で指摘された事項を3年間で修繕することを目標とし指標を設定)	目標値	－	80.0	80.0	30.0	60.0	90.0	
	実績値	－	76.0	84.0	21.0	56.1		
	達成率	－	95.0%	105.0%	70.0%	93.5%	0.0%	

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--